



神明わられら 誇りは高し

平成 29 年 7 月 8 日

学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律 校長 杉山 善之

「シチズンシップ」を考えてみました

3年生と修学旅行に行き、「パブリック」＝公共と「プライベート」＝私的の使い分けをしてきました。宿舎や見学地での「パブリック」、部屋の中での「プライベート」。いざやってみると難しい。でも、できました。私たちは、ここは「パブリック」、ここは「プライベート」と、感覚的に使い分けられているのだなあと思いました。

ここで、登場する言葉は、「シチズンシップ」です。時々、私も話の中で出した言葉ですが、みなさんはどう訳しますか？辞書によると、「市民としての身分、公民権、市民権」と書かれています。「質問力を高めよう」ではありませんが、「市民、公民」とはどういう意味でしょう。こちらは、感覚的にわかる言葉ではありませんね。また、私たちは日本の「国民」として生活しています。「国民」とはその国家を構成する人々という意味です。「市民・公民」「国民」、ややこしいです。そこで、今回はこの「シチズンシップ」のことを取り上げてみました。私の専門教科は社会です。3年生になると社会科の授業で「公民」を勉強します。この「公民」という言葉とも関係が深そうです。

私たちが日常生活でまず意識するのは家族であり、学校の友達、学級、部活やサークルの上級生・下級生、顧問やコーチです。そうやって人とのつながりの中で生きています。なかなか、「国」や「都」や「区」を意識してはいません。しかし、そうした国・都・区がなければ、学校も医療も道路も、また高齢者への福祉もできません。これは、私たちがそうやってくれる人たちを選んで、政治を任せているからです。これを選挙権と言いますが、これは公民権の一つです。

しかし、そういう私たちに代わって政治をやってくれる人がいないところ、例えば「学校」や「家族」では自分たちが決め、実行しなければならないのです。「学校」を例にあげてみましょう。学校には、生徒会があり、専門委員会や係があります。あなた方も、そういう人を選んだり、選ばれたりして学校生活を送っています。人と人とのつながりを「社会」と言いますが、私たちは、「学校」という「社会」の中で、自分たちで自分たちの学校生活をよくしていくための活動を、その「学校」に所属する人間として、責任をもって役割分担しなければならないのです。それが「シチズンシップ」です。もともと、「シチズンシップ」は、一人一人の個人に価値を認める民主主義の「市民社会」の中に生まれた、「市民」としての責任と役割分担なのです。幸いにして、日本は平和です。しかし、世界の国々の中には、安全を脅かされ、人間を個人として認めない国もあることは、みなさんも知っている通りです。

神明中は、昨年、「平和サミット」をやり、いじめをなくすことについて全学年で意見交換しました。今年は、「あいさつ・コミュニケーションサミット」です。区内の中学生も生徒会サミット、昨年からは小学生も入って小中学生未来サミットを行い、「明るい学校づくりを行うにはどうしたよいか」の意見交換をしました。これらの取組は、「シチズンシップ」のものです。今年は、創立70周年式典がありますが、みなさんからのメッセージをたくさん発してほしいです。

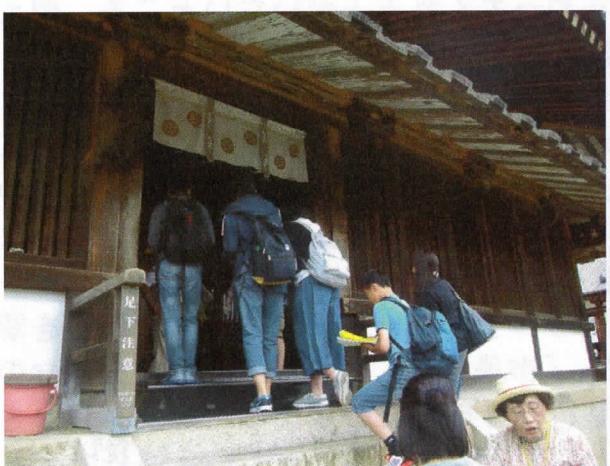
【3年生 修学旅行】

6月7日（水）から6月9日（金）2泊3日で神戸・奈良・京都方面への修学旅行に行ってきました。1日目は新神戸駅からバスで防災センターへ行き「人と防災未来センター」の見学をしました。その後、神戸北野異人館街の班行動、レザークラフト体験学習、コンチェルト号でのディナークルーズを終え、宿泊場所である神戸メリケンパークオリエンタルホテルに着きました。2日目は法隆寺から春日大社、若草山、奈良公園、東大寺、清水、円山公園、高台寺を見学し宿泊場所であるアランヴェールホテル京都に着きました。3日目はタクシー班行動です。中学校最後の宿泊行事は思い出深いものになったことでしょう。



ボランティアガイドさんの案内で奈良・法隆寺を見学しました。しおりにメモを取りながら、しっかりと学習することができました。

大きな、大きな大仏殿。立派で重厚な創りにびっくりしました。



法隆寺に到着したときは、あいにくの雨でしたが、その後は雨もやみ、緑の苔がきれいに映えていました。

奈良公演もボランティアのガイドさんに案内していただきました。班行動の集大成です。